

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日:令和 3年 3月

事業所名 げんき

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	空欄	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標	
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	3			1			
	2	職員の配置数は適切である	1	2	1			配置数は適切だが、状況に応じて勤務変更などを行う 必要に応じて、人員の補充を行う	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	2	1	1				
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	3	1			努力している	共有ノートの作成や定期的なミーティングを行う	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	1	3			努力している	ミーティングなどによってアンケート結果を公表し、業務改善に繋げていく	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	2	1		1		ホームページで公開している	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		2	1	1		外部評価は検討中	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	2	2				感染予防をした上で研修を行えるよう努力する	
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	4						
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	2	1		1		今後、検討していく	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	2	1		1		プログラムは無いが、支援方法については全スタッフで話し合っている	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	1	2		1		日常の活動に加え、季節に応じた工作を行っている	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している			4		状況に応じている	休日・長期休暇は取り組み時間を延ばしたり、買い物学習や屋外運動が行えるよう努力している	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	2	1		1		子供の状況や保護者の要望により、個別活動と集団活動を組み込んでいる	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	3			1		出勤時間が違うため、直接できない時はSNSで対応。	SNSや業務連絡ノートにて対応、状況に応じて改善を図っていく
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	1	2	1		翌日に行っている。休みの人には紙面でわかるようになっている。送迎がある為直接できないので、SNSで対応。次の日の朝礼で行っている。	SNSや業務連絡ノートにて対応、状況に応じて改善を図っていく	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4				努力している		
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	4				半年に一度のモニタリングを行い、計画の更新を行っている	ケース記録を活用しモニタリング会議を充実させていく		
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている		4					基本、複数の活動を組み合わせ状況に応じて行っている	

関係機関 や保護者との 連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4				適任の支援者が参加している	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	3	1			学校との直接的なやりとりを行っていて、やりとりした内容を職員間で共有している	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		2	1	1	現在必要な子どもがいないので、必要な子どもがいれば連絡体制を整えたい。	対象児童無し
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている		2	2			事業所との直接的なやりとりは無いが、保護者へ聞き取りを行っている
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	1	2		1		連絡があった場合、情報提供を行っていくようにする
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		2	1	1		連携は出来ていない。研修があれば参加をしていく
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある			4			今はそのような機会がないが、今後要望などがあれば検討していく
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		2	1	1		事業所連絡会には代表者が参加し、職員に情報共有をしている
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	4				努力している	送迎時に利用者の様子を伝えている 児童の様子などによって面談にて保護者と話す機会を設けることもある
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		2	2			今後の検討課題	
保護者への 説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	3		1			契約時に行っている
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	3	1				助言までは難しいが、保護者の話を聞く機会を設けたり、事業所での様子を共有したりしている
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		1	3		開催できていないので機会があれば	要望があれば検討していく
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	4					苦情があった場合は、職員間で話し合い・解決に努めるとともに、報告をしている
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している		2	2		会報は発行できていないが、facebook等で行っている。	Facebookの活用を始めた
	35	個人情報に十分注意している	4					個人情報は鍵付き書庫に保管 不要なものはシュレッダーをしている
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	4					
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		1	3			要望があれば検討していく

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	1	3			今後、周知の徹底を行っていく
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている			4		年2回の避難訓練を設けている 実施出来ない時は、支援の中で防災の学習を行えるようにしている
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	2	2			虐待と思われる行為について話し合う機会はあるが、研修としては行っていない 今後、研修を実施出来るようにしていく
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	1	3			記載があるかどうか確認し、出来ていなければ再度説明・了解を得ていく
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		4		指示書が必要な子どもがいな い為わからない。 いない。	対象児童無し
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4				